

小立野小学校	小学校教科推進校	教科（国語）
--------	----------	--------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 付けたい力を明確にした主体的な学び

- ・学年で教材研究を行い付けたい力にふさわしい言語活動と単元構成を工夫した。
- ・付けてきた力を児童と共有し、それをどう活用するか確認しながら児童主体で学習計画を立てた。

(2) 重点2 対話的交流による深い学び

- ・話す聞く単元を中心に交流の基本スキル獲得の工夫をした。
- ・教師が「どうなったら深まったといえるのか」を具体的に描き、その「深まり」や付けたい力に到達するのにふさわしい交流の形態や入れどころを工夫した。
- ・教師が描いた「深まり」が表れるまとめを書くための工夫をした。
- ・1時間の学びが見えるふり返りが書けるよう、ふり返りの明確な観点を示した。

(3) 重点3 付けたい力の明確化・系統化

- ・学年ごとに「付けたい力系統表」を作成し、国語科で付けたい力（資質・能力）を系統化、明確化して単元構成・言語活動・交流を考える際に活用した。
- ・付けてきた力を活用して新しい力をつける学びの積み上げを意識できるよう、全クラスで国語科の既習を掲示した。

2 取組の検証

教員・児童アンケートにおいて交流で考えを深める項目・1時間の深まりをまとめやふり返りに書く項目は、教員・児童ともに肯定的評価の割合が7月・12月ともに94.5%～95%で高い達成率を得た。

教員一人一人が重点の共通実践を意識して取り組むための「学校研究ふり返りシート」のA達成率は全ての項目で前回値を大きく上回った。

重点として特に意識した共通実践	R2.9月(A)	R3.1月(B)	B-A
付けたい力を明確にして学びを積み上げる	68.5%	92.1%	↑ 23.6%
教師が描いた考えの深まりを達成するための交流の工夫	47.4%	73.7%	↑ 26.3%
教師が描いた考えの深まりが見えるまとめとふりかえり	47.4%	68.4%	↑ 21.0%

教員個々の「学校研究ふりかえりシート」各項目のA達成率

3 成果と課題

- 「付けたい力系統表」で明確にした付けたい力をつけるために、ふさわしい単元構成、言語活動、交流を工夫して授業実践をすることができた。
- 交流手本動画の作成、話型の掲示・活用等の工夫で対話的交流が実現した。
- 教師が「深まり」とはどのようなことなのかを明確に描いたことで、「深い学び」の実現を意識した様々な手立てを工夫することができた。
- ▲「深まり」を明確に描くことや既習を活用して学びを積み上げることについては、まだ教師個々で意識に差が見られるので共通実践をさらに工夫したい。
- ▲付けたい力や深まりが明確になるほど、児童との共有が難しい。交流のめあてやまとめの観点として提示し過ぎると教師主導になってしまい、提示しなければ深まらない。発達段階や付けたい力にふさわしい共有の仕方を系統化、明確化する必要がある。

